

特別国民体育大会鹿児島市競技運営基本計画

1 目的

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」に参加する選手がその能力を十分発揮できるよう、「特別国民体育大会鹿児島市開催運営基本方針」等に基づき、県、競技団体、関係機関、関係団体等と緊密に連携し、円滑かつ効率的な競技会運営を図る。

2 内容

(1) 競技会の運営

競技会の運営については、県、競技団体、関係機関、関係団体等と緊密に連携を図り、多岐にわたる業務を円滑に行うため、幅広い市民参加を含む体制づくりを行う。

(2) 競技役員等の編成

競技役員等の編成については、県、競技団体等と十分協議のうえ、適正な配置を行う。

(3) 競技用具の整備

競技用具の整備については、現有する競技用具をできる限り活用しながら、競技運営に支障のないよう、県、競技団体及び施設管理者と十分協議のうえ、計画的かつ効率的に行う。

(4) 競技記録処理体制の整備

競技記録の収集及び速報については、県、競技団体、関係機関等と連携を図りながら、正確かつ迅速に処理できる体制づくりを行う。

3 推進にあたって

(1) 安心・安全の確保

参加する選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他関係者並びに一般観覧者（以下「大会参加者等」という。）の安心・安全を確保するため、感染症や災害に備えて競技団体等との役割分担や連絡体制づくりに取り組む。

(2) 開催経費の縮減

開催経費を削減するため、これまでに整備した競技用具等を適切に維持管理するとともに、リハーサル大会等を通じて準備してきたマニュアルや得られたノウハウを活用して、さらなる簡素・効率化を進める。

(3) デジタル化・SDGs の推進

大会参加者等の利便性や満足度を高めるため、競技会の運営や競技記録の収集及び速報等についてデジタル技術の活用を図る。

また、SDGs の達成に向け、プログラムなど印刷物は環境に配慮して作成するとともに、国体終了後における競技用具等の再活用を進める。

(4) 市民みんなと一緒にあった取組の推進

市民みんなで大会を盛り上げるため、競技役員、競技補助員、ボランティアなどについて、競技団体、学校等と連携し、幅広い市民参加を得ながら協働による競技会運営を行う。